

代表者名	菊池 勇咲	所 管 部 課 名	産業経済労働部観光課
所 在 地	小坂町十和田湖字鉛山無番地	設 立 年 月 日	平成9年12月5日

【沿革及び県の出資理由】

歴史的・文化的価値の高い十和田ホテルを後世に伝えるとともに、同ホテルの効率的な運営を図り、もって十和田地域の観光の振興に寄与することを目的に県等の出資により平成9年12月設立。

【出資者】(18年度当初) (千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	100,000	40.0
市町村	3	25,000	10.0
その他	16	125,000	50.0
計	20	250,000	100.0

【事業】

主たる業務

十和田ホテルの諸施設の管理運営業務
酒類、食料品、土産物等の販売
上記各号に付帯する一切の業務

事業実績

(人)

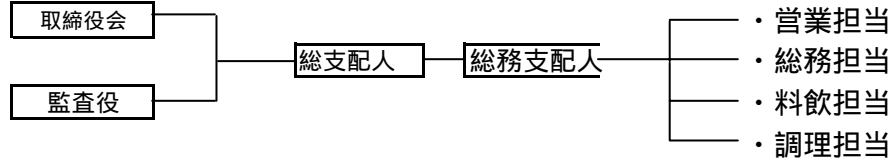
事業名等	15年度	16年度	17年度
宿泊客	20,035	18,793	19,222

17年度事業概要及び18年度事業計画・目標

平成17年度は全体の利用者数が前期比5.0%増、売上高が同10.4%増の364百万円と過去最高を記録し、差引損益は13百万円の黒字となった。平成18年度は十和田湖エリアへの観光客数が年々減少傾向にあることを踏まえて、売上高は330百万円と減収を見込んでいる。

【組織】

運営機構



役員数

(人)

	取 締 役	監 査 役
常勤	1	
内、県退職者		
非常勤	8	1
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	9	1
内、県関係者	1	0

職員数

(人)

正職員	8	正職員 平均年齢	
内、県退職者			30.0歳
出向職員	1		
内、県職員			
臨時・嘱託		正職員 平均勤続年数	
内、県退職者			1.8年
計	9		
内、県関係者	0		

【財務】

損益状況(17年度)

(千円)

	金 額
経常収入 A	363,756
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	363,723
運用益収入	
その他	33
経常支出 B	349,931
人件費	117,173
その他	232,758
経常損益 C = A - B	13,825
経常外収入	
経常外支出・諸税	1,251
当期損益	12,574

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額

財務状況(17年度末)

(千円、%)

	金 額	構 成 比
流動資産	184,166	94.0
固定資産	11,683	6.0
資産計	195,849	100.0
流動負債	16,893	8.6
短期借入金		0.0
固定負債		0.0
長期借入金		0.0
引当金等	10,440	5.3
負債計	27,333	14.0
資本金	250,000	127.6
剰余金	-81,484	-41.6
資本計	168,516	86.0
負債・資本計	195,849	100.0

(千円 %)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率

【県の財政支出】

(千円)

	15年度	16年度	17年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	15年度	16年度	17年度	15-16増減	16-17増減
健全性	自己資本比率	%	83.19	89.06	86.04	5.87	3.02
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	1,443.38	1,345.30	1,090.19	98.08	255.11
収益性	剰余金(欠損金)	千円	90,919	94,057	81,484	3,138	12,573
	経常利益率	%	7.11	2.33	3.80	9.44	6.13
	総資本利益率	%	13.47	4.39	7.06	17.86	11.45
発展性	経常収入額	千円	362,402	329,571	363,756	32,831	34,185
効率性	総資本回転率		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	職員1人当たり経常収入	千円	12,080	11,365	12,125	716	761
	人件費比率	%	26.14	32.56	32.21	6.42	0.35

2 経営目標の達成状況

経営目標			15年度	16年度	17年度	18年度
経営改善指標	経常利益額(千円)	目標	15,000	20,000	20,000	20,000
		実績	25,750	2,901	13,825	
経営改善指標	売上高経常利益率(%)	目標	4.7	5.7	5.7	5.7
		実績	7.1	2.3	3.8	
事業成果指標	売上高(千円)	目標	321,000	353,000	353,000	353,000
		実績	362,376	329,571	363,722	
事業成果指標	個人客宿泊人数(人)	目標	13,600	15,600	14,600	14,600
		実績	16,179	15,129	15,234	
顧客満足度指数		目標	-	-	-	83
		実績	-	-	70	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

当ホテルは特色ある建築を活かし、自然回帰志向の強い中高年客をターゲットとした営業を行い、順調に売上を伸ばしてきた。今後も当初からの営業方針を継続し、付加価値の高い商品の造成と能動的な販売促進活動により増収を図る一方、サービスグレード維持に留意し、費用対効果をにらみながらの運営を行っていく。また、秋田杉による登録有形文化財の入念なメンテナンスを実施しながら、顧客満足度の向上と安定した利益の創出を目的に努力していく。

4 総合評価(計算書類等の資料及びヒアリングによる評価)

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容
過去最高の売上高を記録するなどにより黒字計上となったものの、建物等は固有財産であるため、減価償却費について有利な面があり、より一層の経営努力が必要である。	